

新型コロナウイルス感染症の対応

新型コロナウイルス感染症の影響で、当館は3月5日から5月24日（3/30,3/31は除く）まで臨時休館としてきました。緊急事態宣言と構内立入禁止措置が解除された現在は、事前申請による図書資料の貸出サービスなどに限定して開館しております。

詳細は、2020年5月22日のWeb Campusか図書館ホームページで確認をお願いいたします。

5月25日から図書館員は、全員マスクと手袋を着用し、対応は全て飛沫防止パーテーション越しとし、安全面に配慮しながら対応しております。

返却された図書資料は、飛沫や手が触れられないよう専用のブックトラックに24時間管理してから書架に戻しています。本に付着した様々なウイルスは、数時間で死滅するとのことであることでのこのような対応をとっております。予約が入っている図書資料についても同様の対応を行っておりますので、ご理解のほどよろしく申し上げます。



飛沫防止パーテーションを各カウンターに配備

6月に入ってから、図書館内で自習したい要望も寄せられておりますが、現時点(6/20)では閲覧席の自由利用は許可しておりません。ただし、本館も通常開館を目指し段階的に制限を解除して参りますので、最新情報は図書館ホームページでご確認をお願いします。

図書館では、毎年「図書館マイスター認定スタンプラリー」「図書館アワー」を春と秋に開催しておりますが、残念ながら今年度は1度も開かれておりません。特にスタンプラリーは継続して行うことによって、マイスターを目指すものですので、今年度の春開催がないことが障害にならないよう対策を検討して参りたいと思います。また、学部2年生から受講できる「書庫ツアー」についても改めてご案内いたします。

編集後記：いつも家族で利用している市営図書館では、入館時に入館記録、検温、消毒、1家族1名などのチェックがありますが、閲覧席の利用できませんでした。また、当館と同じく飛沫防止パーテーションが設置され、新型コロナウイルス感染症の対策もしっかりとされており、安心して利用できました。

つつい仕事クセで貸出しと返却時に本のバーコードの向きを全て揃えてカウンターに持って行くのですが、いつも館員さんに喜ばれます。カウンターの待ち時間も減りスマートな所作と個人的に思っています。 【事務長 田島】

蔵書点検報告

毎年3月第1週は、蔵書点検を行っています。蔵書点検とは、所蔵している図書資料が、決められた書架に配架されているか確認を行い、不明本などを探し点検することをいいます。100万点以上の資料を一度に点検するのではなく、毎年ジャンルごとに分けて作業をしています。

今回の蔵書点検は、2019年3月2日から3月7日までの期間で、開架の和書を対象に行いました。対象は約10万冊で1冊ごとバーコード読取機でスキャンを行い確認したところ、50冊ほど不明な図書資料があり、現在も追跡作業を行っています。

電子ブックの充実化

授業形態の変更により、図書館に行かずとも利用できる電子ブックに注目が集まっています。当館においては、多種多様な電子ブックを多く取り揃えており、随時契約しています。

- Maruzen eBook Library 2,100タイトル以上 13,000点以上
- EBSCO eBooks 8/14まで制限解除となり、19万冊以上が閲覧可

ご寄贈いただきました

2019年度開放講座聴講生の大竹明史さんより、新館1階の情報検索コーナーへ新しいプリンターをご寄贈いただきました。2019年3月30日にプリンター配置先の情報検索コーナーにて、二宮館長（当時）からの感謝状をお渡しいたしました。寄贈者の大竹さん自身もよく利用されている情報検索コーナーは、パソコン12台に対しプリンターが1台しかなく、利便性を向上させたいとのことでご寄贈をお考えいただいたことです。現在（2020年6月）は、新型コロナウイルス感染症の影響で閉室している当コーナーですが、利用が開始したら多くの利用者に喜んでいただけるものと存じます。

大竹さん、ご寄贈いただき有難うございました。

ご寄贈いただきましたRICOH社製のプリンター



寄贈者の大竹 明史さん（右）

